



## 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月12日

上場会社名 エキサイトホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5571 URL <https://www.excite-holdings.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長CEO (氏名)西條 晋一  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役CFO (氏名)石井 雅也 (TEL) 03(6450)2729  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月26日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月27日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有(アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	7,533	5.6	622	56.3	597	46.3	453	30.9
2022年3月期	7,131	4.4	398	△10.8	407	△4.0	346	△28.8
(注) 包括利益	2023年3月期 409百万円(68.3%)		2022年3月期 243百万円(△67.4%)					

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	116.51	—	40.8	13.6	8.3
2022年3月期	89.04	—	25.0	9.8	5.6
(参考) 持分法投資損益	2023年3月期 —百万円		2022年3月期 0百万円		

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	4,550	2,022	44.4	518.20
2022年3月期	4,241	1,511	35.6	53.55
(参考) 自己資本	2023年3月期 2,019百万円		2022年3月期 1,508百万円	

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	688	△299	△198	1,175
2022年3月期	704	△383	△190	984

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,650	1.5	630	1.3	610	2.2	455	0.2	94.86

(注) 当社は2023年4月18日を払込期日とする公募増資により普通株式900,000株を発行しております。2024年3月期連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該株式発行の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	3,896,540株	2022年3月期	3,896,540株
② 期末自己株式数	2023年3月期	－株	2022年3月期	－株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	3,896,540株	2022年3月期	3,896,540株

(注) 当社は、2022年12月9日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」および「期中平均株式数」を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	289	1.9	54	23.9	4	△65.3	4	△67.9
2022年3月期	284	121.9	44	△14.2	13	112.9	12	129.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	1.05	－
2022年3月期	3.25	－

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2023年3月期	5,292		1,009		19.1	258.96		
2022年3月期	5,287		1,004		19.0	△75.71		

(参考) 自己資本 2023年3月期 1,009百万円 2022年3月期 1,004百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性がございます。なお、上記業績予想に関する事項は、3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(会計方針の変更) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぎ、行動制限が緩和されるなど社会経済活動が正常化されつつある一方で、足もとでは、物価上昇等を通じた企業収益や家計の圧迫が引き続き懸念されております。

このような環境のもと、当社グループは前連結会計年度に引き続き、持続的な成長に向け、今後の成長が期待できるプラットフォーム事業及びブロードバンド事業における会員獲得のための積極的なプロモーション投資、中長期の柱を育成するための新規事業立ち上げ等に積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は7,533,314千円（前年同期比5.6%増）、営業利益は622,158千円（前年同期比56.3%増）、経常利益は597,051千円（前年同期比46.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は453,971千円（前年同期比30.9%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

#### （プラットフォーム事業）

プラットフォーム事業には、「エキサイト電話占い」や「エキサイトお悩み相談室」等のコンサルティングサービス、「ウーマンエキサイト」等のメディアサービスが属しております。

当連結会計年度は、コンサルティングサービスにおいては、良質な占い師・カウンセラーの獲得に加え、積極的なプロモーション投資により新規会員の獲得を進めてまいりました。メディアサービスにおいては、コミックエッセイを中心に質の高い自社コンテンツを増加させたことに伴いページビュー数も増加しました。

この結果、売上高は3,206,719千円（前年同期比10.3%増）、営業損益は683,535千円の利益計上（前年同期比31.2%増）となりました。

#### （ブロードバンド事業）

ブロードバンド事業には、「BBエキサイト」等のISP（注1）サービス、格安SIMの「エキサイトモバイル」等のMVNO（注2）サービスが属しております。

当連結会計年度は、「BBエキサイト」を中心としたISPサービスにおいて着実に会員数の積み上げを図ったことにより、売上高は3,677,838千円（前年同期比6.6%増）、営業損益は649,689千円の利益計上（前年同期比12.9%増）となりました。

（注）1 Internet Service Providerの略で、公衆通信回線等を経由して契約者にインターネットへの接続を提供する事業。

（注）2 Mobile Virtual Network Operatorの略で、自社で無線通信回線設備を持たず、他の移動体通信業者から借りてあるいは再販を受けて移動体通信サービスを提供する事業。

#### （SaaS・DX事業）

SaaS・DX事業には、「KUROTEN.」や「FanGrowth」等のSaaS事業、見込み顧客の獲得・育成を行う「ウェビナーコンサルティング」やWebシステムの開発・運用を行うDX事業が属しております。

当連結会計年度は、2021年6月に開始した「KUROTEN.」や2022年7月に開始した「FanGrowth」等のSaaS事業等の立ち上げに伴う先行投資により、売上高は648,490千円（前年同期比4.8%減）、営業損益は163,149千円の損失計上（前年同期間148,341千円の損失計上）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### （資産）

当連結会計年度末における総資産は4,550,807千円（前連結会計年度末比309,800千円の増加）となりました。

流動資産は、2,500,324千円（前連結会計年度末305,505千円の増加）となりました。これは、主に利益の拡大に伴う現金及び預金増加によるものであります。

固定資産は、2,050,483千円（前連結会計年度末4,294千円の増加）となりました。これは、主に事業拡大に伴うソフトウェアの増加によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は2,528,097千円（前連結会計年度末比201,129千円の減少）となりました。

流動負債は、1,388,097千円（前連結会計年度末11,129千円の減少）となりました。これは、主に未払金の減少によるものであります。

固定負債は、1,140,000千円（前連結会計年度末190,000千円の減少）となりました。これは、借入金の返済に伴う長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は2,022,710千円（前連結会計年度末比510,929千円の増加）となりました。

これは、主に親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

(自己資本比率)

当連結会計年度末における自己資本比率は44.4%(前連結会計年度末比8.8ポイント増)となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比べて191,296千円増加し、1,175,527千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計期間における営業活動の結果獲得した資金は、688,870千円（前年同期間は704,511千円）となりました。これは、主に利益の計上等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計期間における投資活動の結果使用した資金は、299,483千円（前年同期間は383,171千円）となりました。これは、主に事業拡大のための無形固定資産の取得による支出303,452千円（前年同期は無形固定資産の取得による支出441,550千円）等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計期間における財務活動の結果使用した資金は、198,090千円（前年同期間は190,025千円）となりました。これは、主に長期借入金の返済190,000千円（前年同期は長期借入金の返済190,000千円）等によるものであります。

### (4) 今後の見通し

当社グループは、「両利きの経営」を成長戦略に掲げ、プラットフォーム事業及びブロードバンド事業のユーザー数拡大による「既存事業の成長」を実現しながら、その収益基盤を活用したSaaS・DX事業への積極投資による「新たな事業の柱の構築」、M&Aによる「事業ポートフォリオの強化」を図り、持続的な成長を目指しております。

2024年3月期につきましては、プラットフォーム事業においては、引き続きコンサルティングサービスの会員数の増加に伴う堅調な拡大を見込んでおりますが、メディアサービスにおいてGoogle（検索エンジン）の検索アルゴリズムのロジック変更により、2023年4月後半からページビューが減少しているため、同サービスの減収を見込んでおります。

ブロードバンド事業においては、テレワーク等の在宅需要は落ち着く見通しではあるものの、注力している光回線サービスの会員数増加を見込んでおります。

SaaS・DX事業においては、新規事業として立ち上げている経営管理SaaS「KUROTEN.」、ウェビナーSaaS「FanGrowth」、ファクタリング・請求代行サービス「セゾンインボイス」の利用拡大による売上高への寄与を見込んでおります。iXIT(株)におけるシステム開発・運用等のDXサービスについては、引き続き受注案件を選別し、採算性の改善に注力する方針であります。

以上を踏まえ、2024年3月期の連結業績予想につきましては、コンサルティングサービス（プラットフォーム事業）、ブロードバンド事業、SaaSサービス（SaaS・DX事業）において着実な成長を見込む一方で、メディアサービスにおけるGoogleの検索アルゴリズムのロジック変更による影響が継続する場合、売上高及び営業利益へのマイナス要因となることから、売上高は7,650,000千円（前期比1.5%増）、営業利益630,000千円（前期比1.3%増）、経常利益610,000千円（前期比2.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益455,000千円（前期比0.2%増）を見込んでおります。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により異なる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	984,230	1,175,527
売掛金	1,117,675	1,153,955
棚卸資産	38,012	52,295
その他	89,550	163,204
貸倒引当金	△34,650	△44,658
流動資産合計	2,194,818	2,500,324
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,287	14,287
減価償却累計額	△14,287	△14,287
建物及び構築物 (純額)	0	0
工具、器具及び備品	164,707	59,507
減価償却累計額	△164,371	△59,271
工具、器具及び備品 (純額)	335	235
有形固定資産合計	335	235
無形固定資産		
のれん	607,258	570,639
ソフトウェア	254,488	433,260
ソフトウェア仮勘定	215,686	185,212
その他	73,386	62,902
無形固定資産合計	1,150,819	1,252,016
投資その他の資産		
投資有価証券	689,331	740,248
繰延税金資産	178,862	32,644
その他	91,947	92,083
貸倒引当金	△65,107	△66,744
投資その他の資産合計	895,033	798,232
固定資産合計	2,046,189	2,050,483
資産合計	4,241,007	4,550,807

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	759,251	771,913
未払金	286,980	244,544
1年内返済予定の長期借入金	190,000	190,000
未払法人税等	8,359	7,286
その他	154,635	174,353
流動負債合計	1,399,227	1,388,097
固定負債		
長期借入金	1,330,000	1,140,000
固定負債合計	1,330,000	1,140,000
負債合計	2,729,227	2,528,097
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	892,362	892,362
利益剰余金	628,686	1,082,658
株主資本合計	1,621,049	2,075,020
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△112,397	△55,845
その他の包括利益累計額合計	△112,397	△55,845
非支配株主持分	3,128	3,534
純資産合計	1,511,780	2,022,710
負債純資産合計	4,241,007	4,550,807



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	7,131,961	7,533,314
売上原価	3,885,998	3,978,503
売上総利益	3,245,962	3,554,811
販売費及び一般管理費	2,847,781	2,932,652
営業利益	398,181	622,158
営業外収益		
受取利息	9	11
助成金収入	—	408
為替差益	—	305
投資有価証券運用益	13,984	—
消費税等免除益	11,364	—
その他	1,738	145
営業外収益合計	27,097	870
営業外費用		
支払利息	13,295	11,684
持分法による投資損失	332	—
上場関連費用	—	8,090
投資有価証券評価損	—	3,009
その他	3,674	3,193
営業外費用合計	17,302	25,977
経常利益	407,976	597,051
特別利益		
固定資産売却益	—	9,301
投資有価証券売却益	41,940	—
特別利益合計	41,940	9,301
特別損失		
固定資産除却損	0	3,975
減損損失	144,471	—
その他	4,573	—
特別損失合計	149,044	3,975
税金等調整前当期純利益	300,872	602,378
法人税、住民税及び事業税	3,847	1,782
法人税等調整額	△47,932	146,217
法人税等合計	△44,085	148,000
当期純利益	344,957	454,377
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△1,980	406
親会社株主に帰属する当期純利益	346,937	453,971

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	344,957	454,377
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△101,793	△45,241
その他の包括利益合計	△101,793	△45,241
包括利益	243,163	409,136
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	245,144	408,723
非支配株主に係る包括利益	△1,980	412

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額		非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	100,000	1,165,048	9,068	1,274,117	△10,603	△10,603	5,128	1,268,641
当期変動額								
欠損填補		△272,680	272,680	—				—
非支配株主との取引 に係る親会社の持分 変動		△5		△5			—	△5
親会社株主に帰属す る 当期純利益			346,937	346,937				346,937
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)					△101,793	△101,793	△1,999	△103,793
当期変動額合計	—	△272,686	619,618	346,931	△101,793	△101,793	△1,999	243,138
当期末残高	100,000	892,362	628,686	1,621,049	△112,397	△112,397	3,128	1,511,780

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額		非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	100,000	892,362	628,686	1,621,049	△112,397	△112,397	3,128	1,511,780
当期変動額								
欠損填補				—				—
非支配株主との取引 に係る親会社の持分 変動				—				—
親会社株主に帰属す る 当期純利益			453,971	453,971				453,971
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)					56,552	56,552	406	56,958
当期変動額合計	—	—	453,971	453,971	56,552	56,552	406	510,929
当期末残高	100,000	892,362	1,082,658	2,075,020	△55,845	△55,845	3,534	2,022,710

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	300,872	602,378
減価償却費	64,245	124,028
のれん償却額	36,618	36,618
減損損失	144,471	—
売上債権の増減額 (△は増加)	73,143	△36,280
仕入債務の増減額 (△は減少)	138,497	12,661
未払金の増減額 (△は減少)	28,569	△35,054
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△13,775	15,547
投資有価証券売却損益 (△は益)	△41,940	—
その他	△7,733	△16,673
小計	722,968	703,225
利息及び配当金の受取額	3	36
利息の支払額	△13,137	△11,535
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△5,322	△2,855
営業活動によるキャッシュ・フロー	704,511	688,870
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
無形固定資産の取得による支出	△441,550	△303,452
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	—
投資有価証券の売却による収入	41,940	—
事業譲渡による収入	—	—
敷金及び保証金の回収による収入	—	—
資産除去債務の履行による支出	—	—
その他	16,438	3,969
投資活動によるキャッシュ・フロー	△383,171	△299,483
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△190,000	△190,000
その他	△25	△8,090
財務活動によるキャッシュ・フロー	△190,025	△198,090
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	131,315	191,296
現金及び現金同等物の期首残高	852,915	984,230
現金及び現金同等物の期末残高	984,230	1,175,527

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、連結財務諸表への影響はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、区分掲記していた営業外費用の「消費税等差額」は、当連結会計年度において、営業外費用の総額の100分の10以下となったため、当連結会計年度においては「その他」に含めております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

前連結会計年度において、特別損失の「その他」に含めて表示していた「固定資産除却損」は、当連結会計年度において、特別損失の総額の100分の10を超えたため、区分掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、子会社に商品・サービス別の事業本部を置き、子会社はサービスの向上と売上及び利益の拡大を目指し、事業活動を展開しております。

従って、当社は子会社及び子会社内の事業部を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「プラットフォーム事業」、「ブロードバンド事業」及び「SaaS・DX事業」の3つを報告セグメントとしております。

なお、各セグメントに属するサービス内容は、以下のとおりであります。

報告セグメント	属するサービスの内容
プラットフォーム事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「エキサイト電話占い」、「エキサイトお悩み相談室」等のコンサルティングサービス</li> <li>・「ウーマンエキサイト」、「エキサイトニュース」等のメディアサービス</li> <li>・「セノバス+」等のD2Cサービス</li> </ul>
ブロードバンド事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット接続サービス「BBエキサイト」等のISPサービス</li> <li>・格安SIM「エキサイトモバイル」等のMVNOサービス</li> </ul>
SaaS・DX事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウド経営管理ソフト「KUROTEN.」、ウェビナーPDCAクラウド「FanGrowth」等のSaaS事業</li> <li>・システム開発・運用等のDX事業</li> </ul>

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。また、セグメント間の内部収益及び振替高は、実勢価格に基づいております。セグメント資産及び負債については、経営資源配分の決定及び業績を評価するための検討対象とはなっていないため記載しておりません。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計
	プラットフォーム	ブロードバンド	SaaS・DX	計			
売上高							
外部顧客への売上高	2,906,681	3,450,862	681,085	7,038,628	93,333	—	7,131,961
セグメント間の内部 売上高又は振替高	513	—	—	513	—	△513	—
計	2,907,194	3,450,862	681,085	7,039,141	93,333	△513	7,131,961
セグメント利益又は損失(△)	520,935	575,300	△148,341	947,894	△18,046	△531,666	398,181
その他の項目							
減価償却費	38,474	7,569	12,251	58,295	5,732	217	64,245

- (注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エキサイトフレンズ等の2022年3月期までに終了又は終了が決定したサービスであります。
2. セグメント利益の調整額△531,666千円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント資産の金額は、当社グループでは報告セグメントに資産を配分していないため、開示していません。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計
	プラットフォーム	ブロードバンド	SaaS・DX	計			
売上高							
外部顧客への売上高	3,206,719	3,677,838	648,490	7,533,049	265	—	7,533,314
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,206,719	3,677,838	648,490	7,533,049	265	—	7,533,314
セグメント利益又は損失(△)	683,535	649,689	△163,149	1,170,074	△2,429	△545,486	622,158
その他の項目							
減価償却費	66,378	21,910	35,522	123,810	—	217	124,028

- (注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エキサイトフレンズ等の2023年3月期までに終了又は終了が決定したサービスであります。
2. セグメント利益の調整額△545,486千円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント資産の金額は、当社グループでは報告セグメントに資産を配分していないため、開示していません。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	プラットフォーム	ブロードバンド	SaaS・DX	計			
減損損失	32,374	—	—	32,374	112,096	—	144,471

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	プラットフォーム	ブロードバンド	SaaS・DX	計			
当期償却額	—	—	—	—	—	36,618	36,618
当期末残高	—	—	—	—	—	607,258	607,258

(注) のれんは事業セグメントに配分しておりません。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	プラットフォーム	ブロードバンド	SaaS・DX	計			
当期償却額	—	—	—	—	—	36,618	36,618
当期末残高	—	—	—	—	—	570,639	570,639

(注) のれんは事業セグメントに配分しておりません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。



(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	53.55円	518.20円
1株当たり当期純利益金額	89.04円	116.51円

(注) 1. 1株当たり純資産額については、優先株主に対する残余財産の分配額を控除して計算しております。なお、当社は、2022年11月29日付で、A種優先株主による取得請求権の行使により、A種優先株式をすべて自己株式として取得し、その対価としてA種優先株式1株につき普通株式1株を交付しております。また、2022年11月29日開催の取締役会決議により、同日付でA種優先株式をすべて消却しております。

2. 当社は、2022年12月9日付で株式1株につき10株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。

3. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったことから、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。

4. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	346,937	453,971
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	346,937	453,971
普通株式の期中平均株式数(株)	3,896,540	3,896,540

5. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	1,511,780	2,022,710
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	1,303,111	3,534
(うち優先株式に係る資本金及び資本剰余金の合計額(千円))	(1,299,983)	(—)
(うち非支配株主持分(千円))	(3,128)	(3,534)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	208,668	2,019,175
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数 (株)	3,896,540	3,896,540

(重要な後発事象)

(公募による新株式の発行)

当社は、2023年4月19日に東京証券取引所スタンダード市場に上場いたしました。この上場にあたり、2023年3月15日及び3月30日開催の取締役会において、次のとおり新株式の発行を決議し、2022年4月18日に払込が完了いたしました。

(1)募集方法	一般募集(ブックビルディング方式による募集)
(2)発行する株式の種類及び数	普通株式 900,000株
(3)発行価格	1株につき1,340円

(4)発行価格の総額	1,206,000千円
(5)増加した資本金及び資本準備金に関する事項	増加した資本金の額 554,760千円 増加した資本準備金の額 554,760千円
(6)引受価額	1株につき1,232円80銭
(7)払込期日	2023年4月18日
(8)資金使途	主にプラットフォーム事業及びブロードバンド事業における新規顧客獲得の促進、既存顧客の利用率向上のためのオンライン広告等に要する広告宣伝費、プラットフォーム事業及びブロードバンド事業に係る利用者の利便性や収益性向上のためのサービス及び機能拡充を目的としたシステム開発等の設備投資に充当する予定です。